

国際特許取得

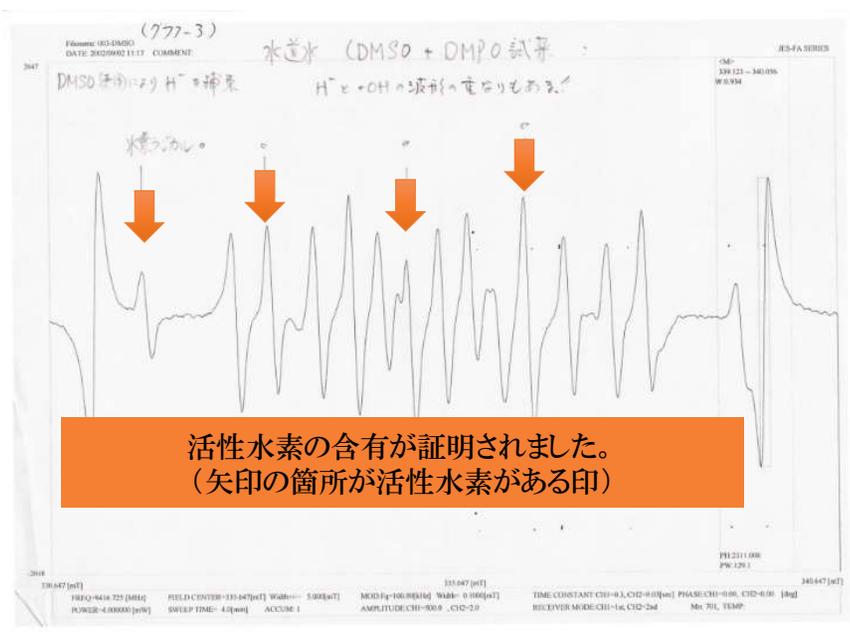
●Point③ 活性水素【業界初】

①国際特許「交流電解還元式」により
家庭用器では業界初の生成を証明しました。

活性水素 測定結果

活性水素測定装置製造会社
日本電子株式会社(通称 JEOL)にて、
活性水素の有無を測定しました。

『交流電気分解方式』にて
生成された水に
活性水素の存在を証明した
貴重なデータです。



水素以上の水素、「活性水素」の正体

一般的に言われる水素は、水素分子(H₂)を示します。
 活性水素は、全くの別物で、**水素原子(H)**を指します。
 活性水素(水素原子)は、単独な「不安定な物質」のため、他の分子と結びつきやすい性質を持ち、**水素以上に活性酸素と反応**します。「反応の確実性」・「速度」・「力強さ」というどの点を見ても、抗酸化物質としては第一級の物質といえます。

通常の水素 = 水素分子



水素原子(H)が二つ結合した分子状態(H)(H)です。
 その結合はめったに離れることはありません。

活性水素 = 水素原子



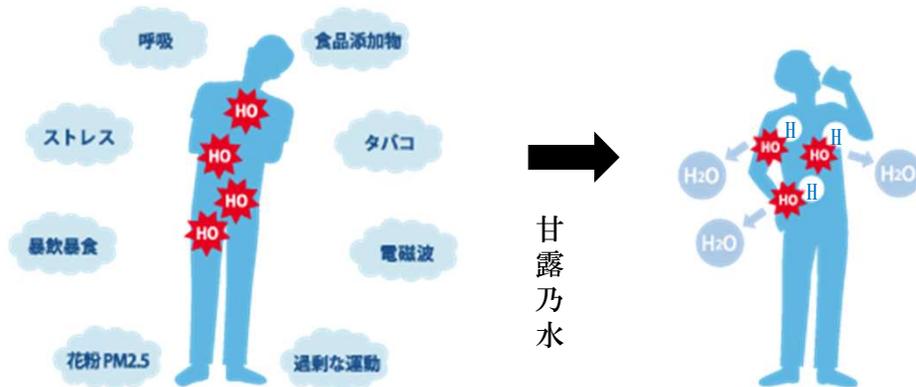
まれにその結合が解かれ、原子が単独で存在する場合があります。
 この単独の水素原子が「活性水素」と呼ばれるものです。

●世界中で難病が治ると伝えられる「奇跡の水」の成分 = **活性水素**
 奇跡の水と呼ばれる、ドイツの「**ノルデナウの泉**」・メキシコの「**トラコテの水**」・フランスの「**ルルドの泉**」。
 世界中の人々がこの地を訪れ、様々な病気の改善報告があります。
 最近の研究から、「奇跡の水」にも多くの**活性水素**が含まれていることが解明されてきています。
 奇跡は**活性水素**が起こしているのかもしれない。



②世の中の病気の90%の原因といわれている「**活性酸素**」を、
 ただの水に変え、無害にする力を持ち、“幻”と言われてきた原子が「**活性水素**」です。

活性酸素「HO」が活性水素「H」を、ただの水「H2O」に変えるプロセスのイメージ図



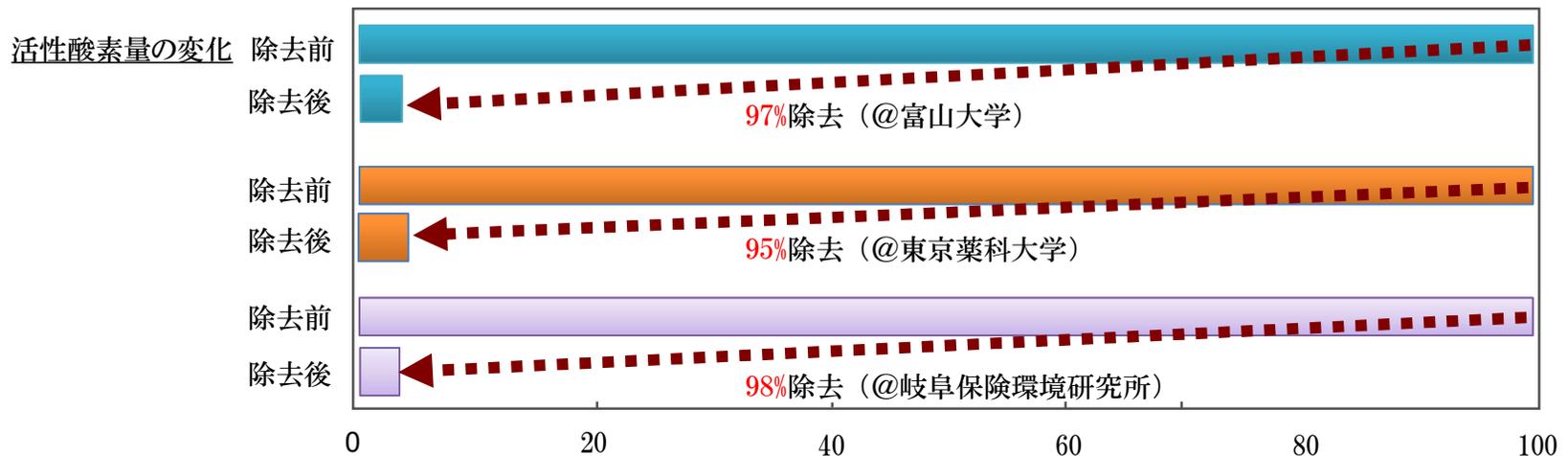
様々な外的要因によって
 生成される活性酸素。
 現代人の生活は過剰な活性酸素に、
 満ち溢れている

悪玉の活性酸素と結合。
 ただの「水」に変換し
 尿や汗として体外へ排出。

活性酸素が過剰に存在すると・・・

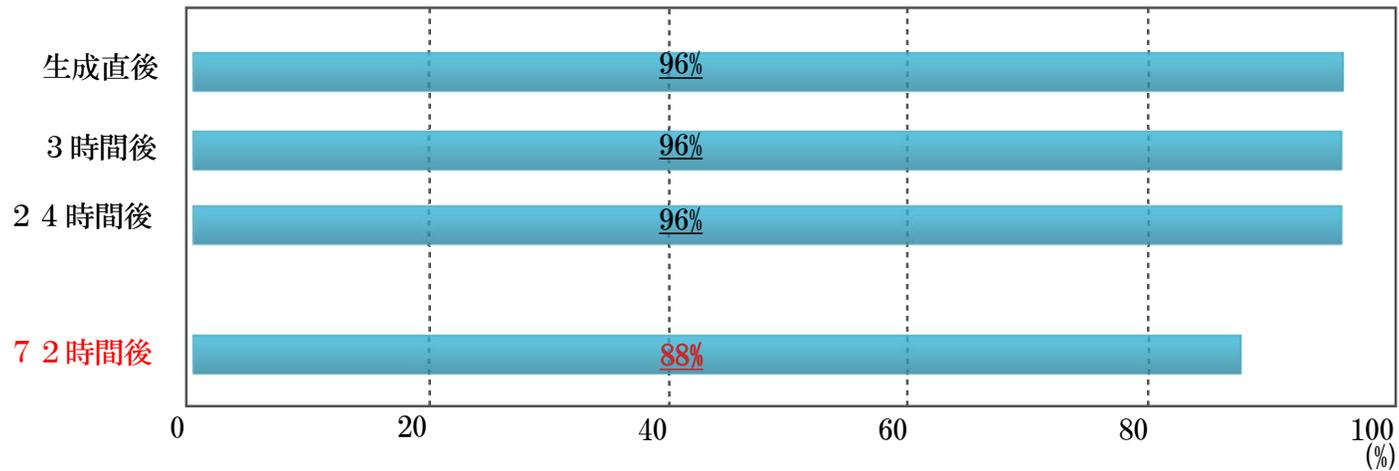
ウイルスだけでなく、人の細胞膜やDNAを傷
 付け、ガンや生活習慣病、認知症など、
 様々な病気を発症させる大きな要因に

③活性酸素の除去率は約95~98%と高い数値を、3つの専門機関で証明しました。

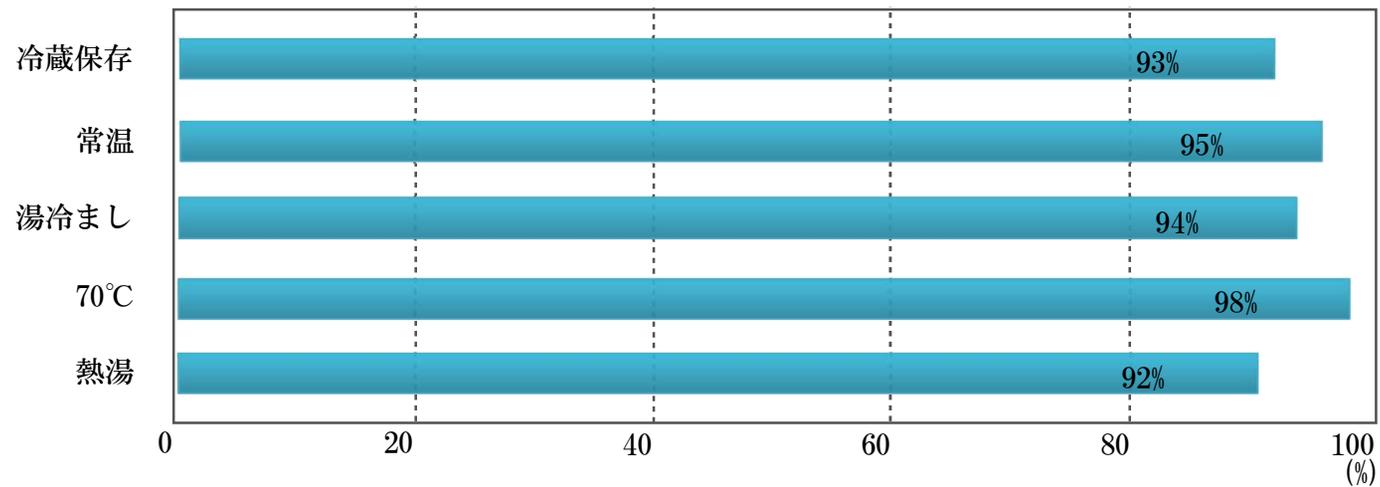


④通常の水素水は、空気に触れると数秒で水素が飛ぶ、水温の変化で水素が飛ぶ、などと言われる中、
甘露乃水は、生成から3日後でも、水温を変化後でも、高水準の%で**活性酸素**を除去すると実証されています。

活性水素の維持時間グラフ



活性水素の水温変化グラフ



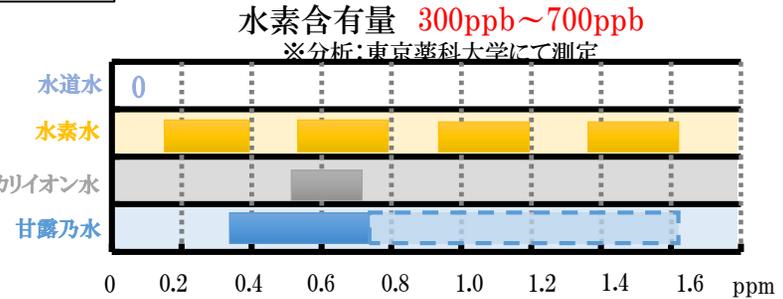
※試験水：東京都八王子市のある家庭の水道水を本器によって10分間還元した水

※分析：富山大学にて測定

⑤ 甘露乃水は、「活性水素」だけではなく、通常の「水素」も十分に含んでいます。

水素 測定結果

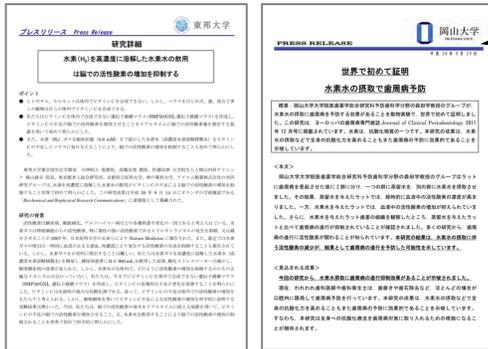
近年、水素を多く含んだ水素水が多数発売されましたが、
『甘露乃水』は飲料時に**300~700ppb**もの水素の溶存量を誇ります。
『甘露乃水』では、水素生成時最も高い値では、1.6ppmを含み、
溶存水素量は**トップクラス**と言って間違いありません。



美容・医療など、多方面から注目されている水素

水素に関する研究は、世界でも群を抜く日本。
日々、伸展している研究の中で、少しずつ水素のもつ可能性が注目を集めるようになりました。
水素は老化予防や体質改善などに効果があるとされ、近年、水素を多く含んだ水素水が多数発売されています。

● 水素にまつわる論文、研究が多数発表



糖尿病・動脈硬化
アルツハイマー病・歯周病
などに水素が効果的

(右) 東邦大学プレスリリース
『水素水の飲用は脳での
活性酸素の増加を抑制する』

(左) 岡山大学プレスリリース
『水素水の摂取で歯周病予防』

● 水素水の効能、改善例

水素水の効能については、日本医科大学の太田成男教授、東邦大学の石神明人准教授、九州大学の白畑實隆教授、京都府立医科大学やピッツバーグ大学等が、以下のように報告しております。さらに活性水素水は、水素水以上の効果があるという説があります。

発ガン
予防

糖尿病
改善

認知症
予防

高血圧
予防

血液
サラサラ
作用

アトピー性
皮膚炎
改善

化学療法
副作用
軽減